

2024 年度実習指導者フォローアップ研修

～実習生の主体性や実践力を育むソーシャルワーク実習を！～

2024. 04. 16 埼玉県社会福祉士会実習指導者研修委員会

令和3年度より新・社会福祉士養成カリキュラムにより、相談援助実習はソーシャルワーク実習となりました。従来の180時間から240時間に増え、「機能の異なる2か所以上の機関・事業所で行うこと」が必須とされ、「支援計画の作成、実施、評価といったソーシャルワークの一連の過程を網羅的に実践すること」、また「実習機関・事業所と、複数の機関・事業所や地域との関連性を含めた、総合的かつ包括的な支援について実践的に学ぶ実習」とすることが明示されました。したがって、ソーシャルワーク実習では、厚生労働省通知の教育事項を踏まえて、すべての目標の達成を実現することが求められています。

埼玉県社会福祉士会では、毎年の実習指導者講習会と並行して実習指導者フォローアップ研修を重ねて、スーパービジョンやプログラミング等について実習指導の実践事例を共有しながら交流し、実習指導のあり方を追究して参りました。

今年度も新・社会福祉士養成カリキュラムを受けて、具体的な基本実習プログラム及び個別実習プログラムの作成方法と実習マネジメント（特に養成校との連携）について研修を行います。今回は、特に実習指導者の率直な悩みや不安に 대응していけるよう準備しております。皆様から忌憚のないご意見を頂戴し、埼玉県におけるソーシャルワーク実習指導の基盤を構築して参りたいと存じます。ご多忙な折、大変恐縮ですが、ご参加の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

【2024年7月14日(日) 13:20~18:50 さいたま共済会館開催（浦和駅徒歩10分）】

1. 実習プログラムの作成方法

ベテランの実習指導者が基本実習プログラム等を発表し、プログラム作成におけるポイントについて具体的に学びます。

2. 実習指導の実践事例の発表

実習指導の実践事例（利用者理解や記録の考察が深まらない、不安が強く自分の意見を表現するのが苦手な実習生など）から、実習生それぞれに合わせた実習指導の多様な指導方法とそこから見えてきた養成校との連携のあり方について学びます。

3. 実習指導 意見交換会

実習生とのかかわり、プログラム作成、実習環境など、実習指導で抱えている不安・心配・想いを気楽に語り、交流しましょう。

実習指導は、実習生の成長が図られるだけでなく、その指導の過程からソーシャルワーカーや他のスタッフの視点変更、利用者支援の質の向上が図られる機能を有し、人材確保や地域を変える可能性を秘めています。実習指導の質を上げながら、地域における社会福祉士の専門性や仲間の輪を広げていきましょう！そして専門職としての社会福祉士の社会的認知力を大いに高めていきたいと考えています。実習指導の楽しさや魅力を共に追究してまいりましょう。ご参加、お待ちしております。

